

## 第2版「オフィシャルガイドブック」改訂ページ切り貼り用データの使い方

- ①本書をA4用紙で印刷してください。(サイズ変更不可)
- ②切り取り線にそって切り取ってください。
- ③【貼り付け位置】を参考に、切り取ったものを貼り付けてください。

お手持ちの第2版に  
貼って  
第3版に!

### 【貼り付け位置】

#### ■表紙



#### ■37ページ

以上当たること)になった。★1ストロークに数え、ペナルティを付加して、ボールが止まった位置からプレーを続ける。

#### (誤球)

**第16条** プレーヤーが誤球でプレーした場合は、アクシデントストロークとしてペナルティを付加する。誤球でプレーしたプレーヤーは、誤球のプレーが最初に起きたと思われる位置にそのボールをプレーしなければならぬ。誤球の当事者双方がストロークした後に気付いたときは、そのホールをホールアウトするまでそのまま続行し、双方にペナルティを付加する。

**例1** 間違っ他人のボールを打ってしまい、ボールはOBとなった。★アクシデントストロークのペナルティを付加して改めて自分のボールを打つ。間違っストロークした他人のボールは、元あったと思われる位置にプレーする。OBのペナルティは付加されない。

#### (取り替えたボール)

**第17条** 別のボールに取り替えることが許されている場合を除き、プレーヤーは、ティーグラウンドからプレーしたボールでそのホールをホールアウトしなければならない。  
2 ボールの取り替えは許されていないのにプレー中にプレーヤーが別のボールに取り替えてストロークした場合、ペナルティを付加する。取り替えたそのボールはプレー中のボールとなる。

#### ●グリーン (カップ周辺、ピン)

**第18条** グリーン (カップ周辺) 上のカップの中心に立てられたピンは、ホールの位置を示す動かさない標識であり、これを取り除くこ

パークゴルフ規則

#### ■36ページ

- 2 プレーヤーがストロークを行う場合において、クラブヘッドがボールに達する前に、プレーヤーがスイングを止めたとき、又はスイングが空振りとなりボールが動かなかった場合は、ストロークとみなさない。
  - 3 プレーヤーは、クラブのシャフト、グリップでボールを打ってはならない。
  - 4 ボールは、正しいスイングで打たなければならない。(押し出し、かき寄せ又はすくい上げてはならない)
  - 5 プレーヤーは、意思の有無にかかわらず1ストローク中に2度以上ボールに触れてはならない。(2度打ち)
  - 6 プレーヤーは、自分のボールが動いている間はストロークしてはならない。
  - 7 動かさない障害物を挟んでストロークしてはならない。
  - 8 ボールが水に浮いている場合は、ストロークしてはならない。
  - 9 第3項、第4項、第5項、第6項、第7項、第8項に違反したときは、そのプレー又はストロークと見なされたプレーを1ストロークに数え、不正打ちとしてペナルティを付加する。
- 例1** アドレスしたらクラブヘッドがボールに触れてボールが動き出し、OBラインを越えてしまった。★打ったことになり、1ストロークに数え、OBのペナルティが付加される。
- 例2** 空振りした。★ペナルティなし。(1ストロークに数えない。2打目以降も同じ)ただし、ボールが動いた場合は、1ストロークに数える。
- 例3** 植え込みの下にボールが止まったので、横に押し出すようにして打った。★1ストロークに数え、ペナルティを付加してボールが止まった位置からプレーを続ける。
- 例4** 慎重に打ったが、2度打ち(1ストローク中にボールが2度

#### ■54ページ

による障害からの救済規定の制定。

#### (3) コースの保護を要する区域

特定の区域(芝の育成地、若木の植樹地その他コース内の栽培用地を含む。)をプレー禁止の修理地として表示することによる保護の助長。

#### (4) その他

打ち止め打数の設定、プレーのベースについてのガイドラインの設定及びコース設備からの救済等。

#### (競技要領)

**第35条** 委員会は、この規則に定めるもののほか、競技に関する事項及び競技会の運営管理に関する要領を別に定めることができる。

#### (改廃)

**第36条** この規則の改廃は、理事会の議決による。

#### 附 則

この規則は、特定非営利活動法人国際パークゴルフ協会(以下「国際協会」という。)が平成12年7月14日に制定した「国際協会パークゴルフ規則」を、公益社団法人日本パークゴルフ協会が継承して平成23年3月1日に施行するものである。

#### 附 則 (平成29年2月16日、第2回理事会改定)

この規則は平成29年3月1日から施行する。

#### 附 則 (令和元年10月24日、第1回臨時理事会改定)

この規則は令和2年3月1日から施行する。

## 【貼り付け位置】

### ■69ページ

ルール	ペナルティあり	ペナルティなし	次打 元あったと思われる所	ボールの止まっている所	備考
アクション					
ストローク中にネットに触れた	●		●	●	ペナルティを付加
動かせる障害物を取り除こうとしたとき、ボールが動いた	●		●		動いたボールは、元あったと思われる位置にプレースする
2打目					
他人のボールを間違えて打った	●				ペナルティを付加 自分のボールを打ち直す
スイングに邪魔な枝を折って打った	●		●	●	ペナルティを付加
ボールのライを改善して打った	●		●	●	ペナルティを付加
クラブヘッド以外で打つ	●		●	●	ペナルティを付加
不正打	●		●	●	ペナルティを付加
1ストローク中に2回以上クラブヘッドにボールが触れた	●		●	●	ペナルティを付加
自分のボールが止まる前に打った	●		●	●	ペナルティを付加
マークを自発的にした(クラブから2クラブ以内)	●				クラブから2クラブ以内は宣言せずにマークできる
カッパ周辺					
同伴者のマークの位置から打った	●				ペナルティを付加し、誤球と同様の処置をする
カッパのふちに止まったボール周辺の地面を振動させた場合	●		●	●	止まっているボールを動かしたことになり、ペナルティを付加
ボールを局外者によって止められ、または方向を変えられた	●				
ボールを自分の体に当てた	●				ペナルティを付加
ボールを同伴者に当ててしまった	●				周囲に気を付けて安全の確認
自分のボールを止まっている同伴者のボールに当てた	●				同伴者のボールは元あったと思われる位置にプレース
その他					
ストロークするときに動かせる障害物に触れそうな位置にボールがあったのでアンプレヤブルを宣言した	●				1打を付加し、カッパに近づかない1クラブ以内でプレースする

ルールを単独で見ると

### ■74ページ

状況	付加打数	処置・説明
③ 修理地内にある水溜りにボールが止まった。	無	修理地内にある水溜りにボールが止まった場合は、修理地からの救済を受けるのみ。
④ 修理地の処置をしたボールを修理地外にプレースしようとしたが、水溜りにあった。	無	ボールをプレースするべき位置が、水溜り内であった場合はカジュアルウォーターとして更に救済を受けることができる。
⑤ 修理地内をボールが通過したら、ペナルティといわれた。	無	ボールが修理地を通過してもペナルティにはならない。

  

状況	付加打数	処置・説明
① ボールが穴掘り動物の作った穴に止まり、打てないので救済を受けたい。	1打	穴掘り動物の作った穴に対する救済はない。打てないを判断した場合、アンプレヤブルを宣言して1打を付加し、カッパに近づかない1クラブ以内の範囲にプレースしプレーを再開する。
② アドレスしようとしたところ、枝が邪魔になるのでその枝を踏んでアドレスして打った。	2打	ライの改善となりペナルティが付加される。
③ スタンスの位置が急斜面で不安定なので、足場を作ってアドレスした。	2打	スタンスをとるときは、しっかりと地面に足を踏んでよいが、スタンスの場所を作ることばきでない。
④ ラフで打ったら、フォローコースのときにもう一度クラブに当たった。	2打	1ストローク中に、2度以上打った(2度打ち)場合、そのストロークに加えペナルティが付加される。ボールが止まった位置からプレーを続ける。
⑤ ラフの中にある自分のボールをうっかり蹴ってしまった。	2打	自分のボールは規則で許されている場合を除き蹴れてはいけない。ペナルティを付加しボールを元あったと思われる位置へ戻し、プレーを再開する。
同様に同伴者が蹴った場合。	無	元あったと思われる位置にボールを戻し、プレーを再開する。局外者と同様に扱う。
⑥ 林の中で打ったら、ボールが木に当たり跳ね返って自分に当たった。	2打	ペナルティとなる。ボールの止まった位置からプレーを続ける。
⑦ ボールはラフにあるが、スタンスがカジュアルウォーターに入ったので、フェアウェイにプレースした。	無	カジュアルウォーターの救済は、当該カジュアルウォーターを避ける最も近い位置までの距離以内で、カッパに近づかない位置であればフェアウェイ、ラフに属さない。
⑧ ボールがラフの中にある排水溝に入ってしまった。	1打	アンプレヤブルを宣言し1打を付加しカッパに近づかない、1クラブ以内でプレースしてプレーを再開する。
⑨ ボールがラフに入っていて、打てない。	1打	アンプレヤブルの1打が付加されるが、規則で許されている範囲内であれば、バンカー・フェアウェイ、ラフでもプレースすることができる。

### ■75ページ

状況	付加打数	処置・説明
⑧ ラフでクラブヘッドをボールの後ろに置いたら、打球時に挟まりそうだった芝が寝て、打ちやすくなった。	2打	ペナルティが付加される。クラブヘッドを置くとき芝の寝かす行為は、ボール1個分程度離してアドレスすべきである。

  

状況	付加打数	処置・説明
① ボールがネットの近くに止まり打てないので、ネットの裏にスタンスを取って打った。	無	スタンスはネットの裏に取っても構わないが、ネットに触れるとペナルティとなる。
② O B 枝が邪魔で打てないので、枝を抜いて打った。	2打	ペナルティが付加される。
③ O B 枝の近くに止まったボールを、脇がなくて、バックスイングを取らずにそのまま打った。	2打	スイングの伴わない動作はストロークと認められない。押し出しの不正打ちとみなされる。
④ ボールがネットに付いて止まっているので、裏からネットを挟んでボールを打った。	2打	ペナルティが付加される。ネットを挟んでボールを打つことは、クラブでボールを打ったことにならない。
⑤ ネットに囲まれた区域にボールが入って打てない。	1打	アンプレヤブルを宣言し(1打付加)、入ったと思われる位置からカッパに近づかない、1クラブの範囲にボールをプレースする。(ウォーターハザードの処置と同じ扱いをする。)

  

状況	付加打数	処置・説明
① アドレス、又はバックスイングの際にクラブヘッドが砂に触れた。	無	パークゴルフではクラブヘッドが砂に触れてもペナルティはない。
	2打	強く押し付けることはライの改善になり、ペナルティを付加しない。
② バンカーショットの際、フォロースルー中に一度ボールに当たった。	2打	不正打ち(2度打ち)である。1ストロークにペナルティを付加し、ボールの止まった位置からプレーを続ける。
③ バンカー内のボールのすぐ後ろに松かさがあり打てないので取り除いた。	無	松かさば動かせる障害物である。
④ ボールのそばにあったバンカーならしを取り除いたら、ボールがバンカーの中に転がったのでボールを元に戻した。	無	バンカーならしは動かせる障害物であり、取り除くときにボールが動いた場合は、ペナルティなしで元あったと思われる位置に戻すことができる。
⑤ バンカー内の枯葉・枯れ枝の上にボールが乗っているとき、枯葉を取り除いたらボールが動いた。	無	バンカー内の枯葉・枯れ枝・小石・虫の死骸等は取り除くことのできる障害物である。ボールが動いたときは元の位置に戻す。

ルールを単独で見ると

### ■79ページ

全国のパークゴルフ情報をあなたへ  
—日本協会発行 唯一の広報誌—

## 「NPGA ニュース」

個人購読募集中!!  
お問い合わせは、下記事務局まで

  

**パークゴルフ オフィシャル ガイドブック**

令和2年(2020)3月1日 発行  
令和2年(2020)4月1日 第2版

発行者 公益社団法人  
日本パークゴルフ協会  
北海道中川郡幕別町宝町53-1  
TEL (0155) 54-2260  
FAX (0155) 54-2204  
E-mail: parkgolf@ipga.jp  
https://www.parkgolf.or.jp/  
定価 700円(税別)

無断複製転載を禁ず

## ■表紙

2026年4月1日施行 ※

## ■36ページ

※

- 2 プレーヤーがストロークを行う場合において、クラブヘッドがボールに達する前に、プレーヤーがスイングを止めたとき、又はスイングが空振りとなりボールが動かなかつた場合は、ストロークとみなさない。
- 3 プレーヤーは、クラブのシャフト、グリップでボールを打ってはならない。
- 4 ボールは、正しいスイングで打たなければならない。  
※ボールを押し出したり、又は押すように打ったり、かき寄せたり、すくい上げてはならない。
- 5 1ストローク中に、意図せずボールが2回以上クラブヘッドに当たった場合は、1回のストロークとする。この場合、ペナルティは付加されない。
- 6 プレーヤーは、自分のボールが動いている間はストロークしてはならない。
- 7 動かせない障害物を打球面とボールの間に挟んでストロークしてはならない。
- 8 ボールが水に浮いている場合は、ストロークしてはならない。
- 9 第3項、第4項、第6項、第7項、第8項に違反したときは、そのプレー又はストロークと見なされたプレーを1ストロークに数え、不正打ちとしてペナルティを付加する。

**例1** アドレスしたらクラブヘッドがボールに触れてボールが動き出し、OBラインを越えてしまった。★打ったことになり、1ストロークに数え、OBのペナルティが付加される。

**例2** 空振りした。★ペナルティなし。(1ストロークに数えない。2打目以降も同じ) ただし、ボールが動いた場合は、1ストロークに数える。

**例3** ボールを押すように打った。★1ストロークに数え、不正打

## ■37ページ

※

このペナルティを付加してボールが止まった位置からプレーを続ける。

## ■54ページ

附 則（平成29年2月16日、第2回理事会改定）

この規則は平成29年3月1日から施行する。

附 則（令和元年10月24日、第1回臨時理事会改定）

この規則は令和2年3月1日から施行する。

附 則（令和8年2月17日、第2回理事会改定）

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

## ■69ページ

1 ストローク中に2回以上クラブヘッドにボールが触れた	●		●	意図しない場合はペナルティを付加しない
不正打ち		●	●	ペナルティを付加
クラブヘッド以外で打つ		●	●	ペナルティを付加
正しいスイングで打たなかった		●	●	ペナルティを付加
自分のボールが止まる前に打った		●	●	ペナルティを付加

## ■74ページ

④	ラフで打ったら、フォロースルーのときにもう一度クラブヘッドにボールが当たった。	無	通常のストロークで、意図せずボールが2回以上クラブヘッドに当たった場合は、1回のストロークとしペナルティを付加されない。
---	---	---	--

## ■75ページ

③	OB杭の近くに止まったボールを、隙間がないので、バックスイングを取らずにそのまま押すように打った。	2打	スイングの伴わない動作はストロークと認められない。不正打ちとみなされる。
---	---	----	--------------------------------------

②	バンカーショットの際、フォロースルー中にもう一度クラブヘッドにボールが当たった。	無	1ストローク中に意図せずボールが2回以上クラブヘッドに当たった場合は、1回のストロークとする。この場合、ペナルティは付加されない。
---	--	---	---

## ■79ページ

令和8年（2026）4月1日 第3版